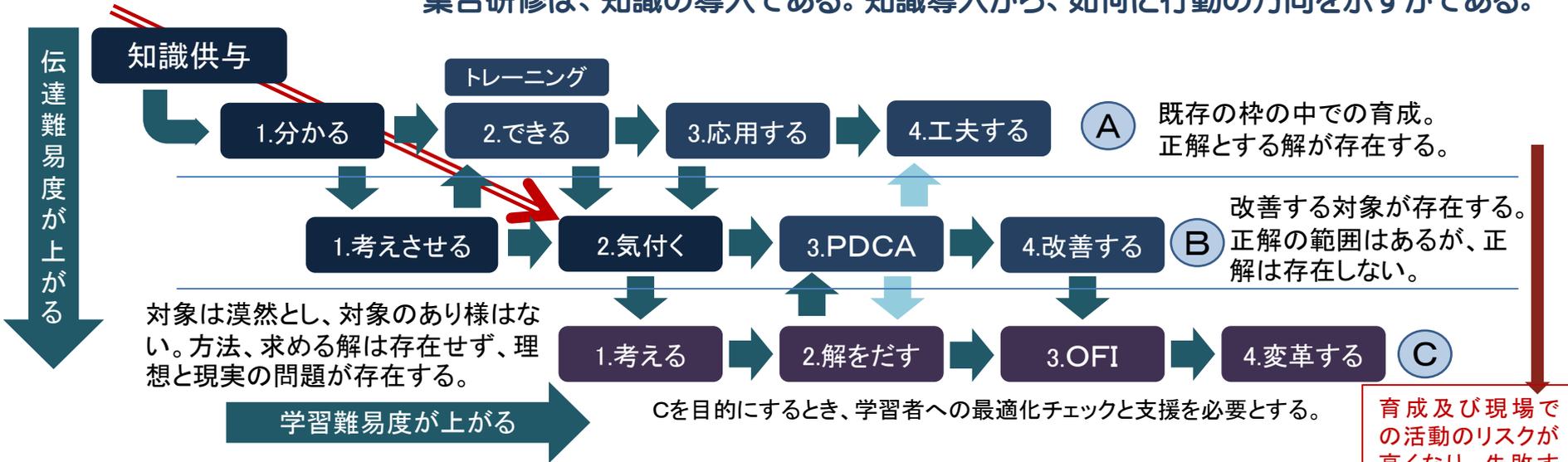


# Off-JTの実施意図を確定する

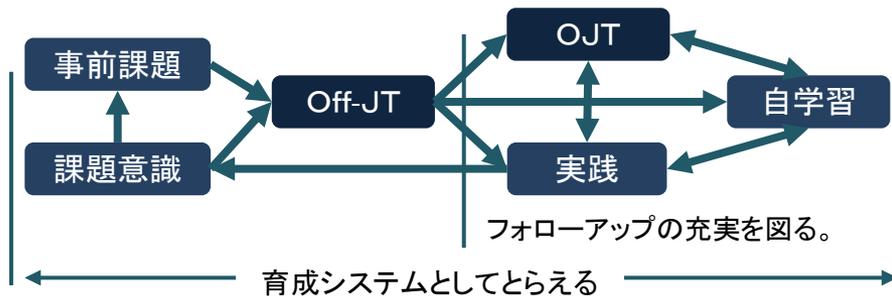
育成の目標は3段階に分かれる。「A.工夫する」「B.改善する」「C.変革する」である。

集合研修は、知識の導入である。知識導入から、如何に行動の方向を示すかである。



組織内教育の目的が「変革する」であれば、1回1日程度のOff-JTでは、B-2の「気付く」までが限度だが、目標にするべきである。改善する、変革するレベルによって異なるが、⇒「気付く」まで持って行けるのは困難である。継続してOff-JTを行うか、丁寧なフォローアップが必要になる。

人材の知識、経験、意識によって、目標とするA、B、Cの位置が変わってくる。目標とするA、B、Cの位置を混在させない方が育成効果が高い。



変革、革新は教えられない。教えられる変革はすでに存在しており、正解らしきものがある。変革とは言わない。  
 革新への手がかりがある。すでに、革新の為の兆候が現れて、兆候を見つけ出し、兆候を機会に転換できる。人材育成は、革新への方向と革新リスクの低減を図る。  
 どこかに、正解としての答えが出ているはずだとする。その解を探そうとする習慣がついているところに発展を阻害する傾向がある。状況、自らが持つ環境、現在の位置から、自らの解を見いだそうとする姿勢が大切である。自らの解を探そうとする姿勢を育てねばならない。